

岩手県立大学 平成 30 年度

卒業年次生アンケート

集計結果報告書

平成 31（2019）年 3 月



公立大学法人
岩手県立大学
Iwate Prefectural University

目次

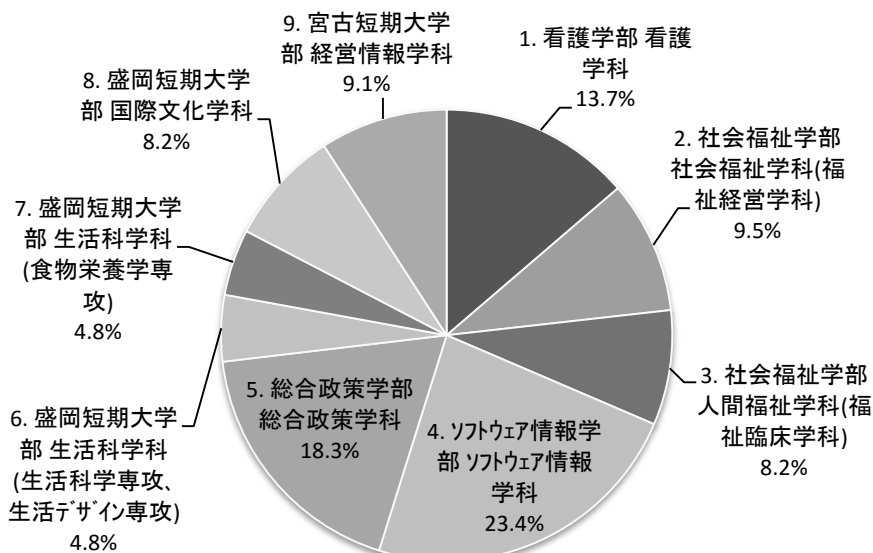
1. 調査の概要	1
1. 所属	1
2. 性別	1
2. 調査結果の要約	2

1. 調査の概要

- ①実施時期： 平成 31 年 2 月～平成 31 年 3 月
- ②対象者： 岩手県立大学、盛岡短期大学部、宮古短期大学部
平成 30 年度卒業年次生 (684 名)
- ③回答者： 547 件 (回収率:80.0%)
- ④集計対象回答者内訳：

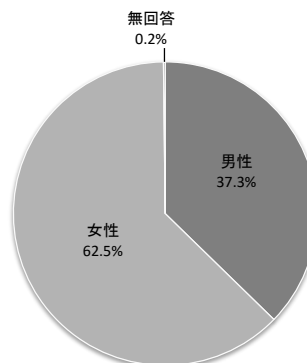
1.所属

1. 看護学部 看護学科	75 (13.7)
2. 社会福祉学部 社会福祉学科(福祉経営学科)	52 (9.5)
3. 社会福祉学部 人間福祉学科(福祉臨床学科)	45 (8.2)
4. ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科	128 (23.4)
5. 総合政策学部 総合政策学科	100 (18.3)
6. 盛岡短期大学部 生活科学科 (生活科学専攻、生活デザイン専攻)	26 (4.8)
7. 盛岡短期大学部 生活科学科(食物栄養学専攻)	26 (4.8)
8. 盛岡短期大学部 国際文化学科	45 (8.2)
9. 宮古短期大学部 経営情報学科	50 (9.1)
合計	547 (100.0)



2.性別

1. 男性	204 (37.3)
2. 女性	342 (62.5)
3. 無回答	1 (0.2)
合計	547 (100.0)



2. 調査結果の要約

A 回答者について

- 3. 回答者の住居の状況は、アパート 46.8%、自宅 45.0%となっている。経年でみると自宅の割合が微増傾向にある。
- 4. 学生の出身地は、岩手県内が 65.1%のほか、青森県 7.5%、秋田県 6.2%と続き、東北 6 県の出身者が全体の 89.2%を占めている。これまでの 10 年間の調査で見ると、岩手県出身者の割合は 72.5%~65.1%の範囲で上下しているが、今回の調査結果がこれまでに最も低い 65.1%となっている。
- 5. 通学方法は、自家用車 32.7%、徒歩 17.4%、バス 15.5%の順となっている。

B 教育全般について

- 問1. 自ら設定した学習目標の達成度は、全体の 83.5%が肯定的意見(「達成できた」「ほぼ達成できた」となっている。
- 問4. 外国語を習得するため、正課の授業以外で何らかの取組をした学生の割合は、全体の 24.9%。取組の内容としては、「資格試験(TOEIC、英検など)に挑戦した」19.4%、「通信教育や教材で自学した」5.1%等となっている。
- 問5. 在学中に海外渡航の経験を有する学生は、全体の 18.8%となっている。所属別では、盛岡短期大学部国際文化学科が 68.9%と突出して多い。
- 問7. (1)、(2)キャリア形成に関わる正課の授業を履修した割合は、全体の 50.8%となっている。履修した学生のうち、全体の 88.5%が肯定的意見(「とても有意義であった」「有意義であった」となっている。
- 問9. (1)、(2)インターンシップ・体験学習(単位認定の有無は問わない。資格要件の実習は除く。)を体験した学生の割合は、全体の 55.2%となっている。体験した学生のうち、全体の 90.7%が肯定的意見(「とても有意義であった」「有意義であった」となっている。

C 学生生活について

- 問11. 学内のサークル活動に参加していた割合は、全体の 67.1%となっている。
- 問12. ボランティア活動に参加したことのある学生が全体の 33.8%、学外のクラブ・サークル活動 11.3%、いわて創造学習 9.1%、国際交流活動 5.7%、町内会などの活動 3.1%となっている。
- 問13. 入学後の学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことのある学生の割合は、全体の 16.8%、その内 7.5%が交通事故である。

- 問15. 回答者の1ヶ月の平均収入額は、全体として総額82,255円、自宅生は64,836円、自宅生以外は96,129円となっている。
- 問16. 在学中の学生生活全般の充実度は、全体の94.0%が肯定的意見(「とても充実していた」「やや充実していた」となっている。

D 学内施設の利用について

- 問17-(1). 図書館の利用頻度は、「月に1~2日」23.4%、「週に1~2日」16.5%、「ほとんど利用しない」16.5%、「年に数回」15.9%の順となっている。所属によって利用頻度にばらつきが見られる。
- 問17-(2). 図書館の利用目的は、「学習場所として(自学自習)」76.0%、「図書閲覧・貸出」59.0%、「図書・雑誌を利用した調べもの」36.5%の順に多くなっている。
- 問18. 図書館の利用満足度は全体的に高く、宮古キャンパスの「開館日・開館時間」85.7%以外の項目において、滝沢キャンパス、宮古キャンパスともに肯定的意見が90%を超えている。
- 問19. 健康サポートセンター、学生サポートサロン、学生相談室(滝沢キャンパス)については、利用したことがない学生も多いが、利用者の満足度は非常に高く、肯定的意見(「満足である」「どちらかといえば満足である」)の割合は、すべての項目で95%以上となっている。
- 問19. 宮古キャンパスについては、保健室、カウンセラー相談などハード・ソフト面の両面において利用者の肯定的意見の割合は100%となっている。

E 卒業後の進路、就職支援等について

- 問20. 卒業後の居住予定地は、「岩手県」が全体の47.5%となっている。特徴的なのはソフトウェア情報学部において、「東京都」が33.6%となっている点である。
- 問21. 卒業後の進路については、「就職(公務員以外)」が70.0%、「就職(公務員)」が12.2%、「[学部卒業生]大学院への進学(本学)」が5.1%等となっている。
- 問22. 卒業後、進学をする学生(68名)が進路先を選ぶ上で重視したのは、教育環境(施設含む)60.3%、次いで授業科目55.9%、授業料39.7%、地理的条件35.3%となっている。
- 問22-2. 決まった進学先の満足度に関しては、回答者68名のうち52.9%(36名)が「第一希望である」と回答している。また、「第一希望に近い」を含めると77.9%となっている。

- 問24. 就職先を選択する場合に重視する項目は、全体としては「仕事内容(やりがい)」64.4%、「賃金・賞与」61.2%、「労働日数・時間」49.3%、「希望する勤務地であること」47.5%の順であった。
- 問25. 就職予定先について、「第1希望である」「第1希望に近い」と回答した割合は全体の 85.9%と高い数値となっている。「第1希望である」だけでみると看護学部の76.7%が最も高く、次いで社会福祉学部人間福祉学科(福祉臨床学科)53.8%となっている。
- 問26. 岩手県出身者で岩手県以外の都道府県に就職等を予定している学生のうち、「何らかの時期で(岩手県内へ)Uターンを考えている」と回答した割合は 50.0%となっている。
- 問27. 大学の就職支援サービスについて、利用したことがある学生の満足度を表す肯定的意見(「満足である」「どちらかといえば満足である」)の割合は、項目ごとに若干の差異があるが、87.0%~95.7%の範囲となっており、満足度は高いと言える。

F 大学への要望等について

- 問28. 卒業年次生が感じる本学のイメージについて最も高かった項目は「就職状況が良い」42.2%、学生のイメージについて最も高かった項目は「個性的である」45.2%となっている。
- 問29. 自由記述では教育内容や学生支援、施設・環境などに関する要望や在学中のサポートなどに関する謝辞等の記述があった。

【担当・問合せ先】

岩手県立大学事務局企画室 広報情報グループ

〒020-0693 岩手県滝沢市巢子 152-52

TEL:019-694-2005 FAX:019-694-2001 E-MAIL:management@ml.iwate-pu.ac.jp